



第11回 コテキリの会

同志社大学古典教材開発研究センター
主催：コテキリの会事務局
[山田和人・加藤弓枝・加藤直志・三宅宏幸]

第1部【基調講演】

ためつすがめつ
江戸の板本

木越俊介



(国文学研究資料館教授)

司会：三宅宏幸 (同志社大学)

めくって

みたら

これまた

栄華の夢

●開会の辞：山田和人

(コテキリの会代表・同志社大学名誉教授)

●総合同司会：加藤直志 (常葉大学)

第2部【実践報告】 司会：三宅宏幸

中高生も
めくってみた！
コメンテーター：木越俊介

報告者1 ●清田朗裕 (愛媛大学)

和本を通して近世の産業を学ぶ

実用的な文章を活用した古典教育

報告者2 ●藤原優里 (渋谷教育学園幕張中学校)

見て・触れて・感じる

「和本のテーマパーク」

中1における古典の導入

《インタビュー》●世界(せかい) (高校3年生)

とある高校生が

くずし字を習得し

黄表紙の現代語訳本を

完成させるまで

聞き手：加藤弓枝 (名古屋大学)

●日時
2025年 9月7日(日) 13:30~16:30

- オンライン (Zoomミーティング) 開催
- 定員:150名 (先着順)
- 申込メ切:9月3日 (水)
- 参加費:無料

申込はWEBサイトから



団扇絵づくし
(稀書複製会 [編] 米山堂、昭和4、
国立国会図書館蔵)
<https://dl.ndl.go.jp/pid/1186783/1/16>

<https://koteciri20.wixsite.com/cdemcjl/event-11>

プログラム詳細

13:15～ 会場開室 総合司会 ^{かとう ただし}加藤 直志 常葉大学

13:30～ 開会の辞 ^{やまだ かずひと}山田 和人 同志社大学名誉教授

13:40～ 第1部 基調講演 ためつすがめつ江戸の板本

^{きごし しゅんすけ}木越 俊介 国文学研究資料館 教授

プロジェクト「異分野融合による総合書物学の拡張的研究」では、主として江戸時代の板本を対象に、文字の選択や配列、書籍の大きさや重さといったかたちや姿を手がかりに、その背景にある当時の人々の思いや考えに近づこうとしています。今回は、活字と整版それぞれの例から、①古活字版における異植字のサンプリング調査、②初代蔦屋重三郎の出版物における書型の大きさランキングなど、比較することで見えてくる近世出版の多様性についてお話しします。

司会 ^{みやけ ひろゆき}三宅 宏幸 同志社大学

【経歴】

神戸大学大学院博士課程修了。山口県立大学を経て現職。研究対象は、江戸時代の散文、主に小説や奇談など。現在は特に、1800年前後の江戸、上方双方における知のあり方の変容に関心を寄せる。また、作品がどのように生まれ、いかなる過程を経て読者に届けられるかという点にも興味を持ち、とりわけ出版や流通について研究中。



14:45～ 第2部 実践報告 中高生もめくってみた！

教科書に載っている作品だけが古典ではありません。第2部では、実物の和本やくずし字を利用した実践や古典の魅力を感じられる体験活動などをご紹介いただきつつ、楽しく面白く奥深い古典の世界へ導く、バリエーション豊かな実践活動について皆さんと共有したいと思います。

報告 ^{きよた あきひろ}清田 朗裕 愛媛大学

「和本を通して近世の産業を学ぶ——実用的な文章を活用した古典教育」

^{ふじわら ゆり}藤原 優里 渋谷教育学園幕張中学校

「見て・触れて・感じる「和本のテーマパーク」——中1における古典の導入」

出演 ^{せかい}世界 高校3年生

「とある高校生がくずし字を習得し黄表紙の現代語訳本を完成させるまで」

聞き手 ^{かとう ゆみえ}加藤 弓枝 名古屋大学

コメンター ^{きごし しゅんすけ}木越 俊介 国文学研究資料館

司会 ^{みやけ ひろゆき}三宅 宏幸 同志社大学

～16:30

運営サポート 文学通信

好評発売中！

当センター監修『作家さんと日本の古典を読んでみた！』ポプラ社

厳選された12シーンの「原文」+「逐語訳」、万城目学さん・角田光代さん・門井慶喜さんら著名作家3名による書き下ろしの「現代語訳」+「語訳のポイント」を1見開きに掲載！これまでにない画期的なつくりの書籍です。古典の基礎知識が自然と身につく、イラストや画像資料を使ったビジュアル解説も充実。総ルビ対応で小学生から大人まで幅広く楽しめる、古典教材の決定版です！



参加費 無料

募集人数 オンライン150名（先着順）

申込方法 2025年9月3日（水）までに下記の「同志社大学古典教材開発研究センター」のWEBサイト(右QRコード)へアクセスのうえ、参加申込フォームからお申し込みください。

*参加にあたって何か配慮が必要な方は、8月27日までに問合せ先にご連絡ください。

URL ● <https://kotekiri20.wixsite.com/cdemcjl/event-11>

問合せ先 同志社大学文学部国文学科 三宅研究室内 コテキリの会事務局

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入 Email:kotekiri20@gmail.com

